

県議会報告

2016年3月(2)

日本共産党 岡山県議会議員団

岡山市北区内山下2-4-6 岡山県議会内
TEL 086(226)7412
FAX 086(231)2187

森脇ひさき
氏平みほ子
すます伸子

11月議会

「学力テスト体制」やめよ 楽しい学校へ、すます県議が質問



県計画に順位目標は岡山のみ

すます伸子県議は、「全国学力テスト」の順位向上に偏重した教育をやめ、「わかる授業、楽しい学校づくり」をすすめるよう求めました。

すます県議は、「全国学力テスト」に係わる目標を掲げている都道府県を独自に調査した結果を示しました(表)。

順位目標を掲げている県は岡山と愛媛、大分の3県。県の総合計画に位置づけているのは岡山県だけでした。これに対し知事は、「高い志を県民にわかりやすく伝えたい」などと答弁しました。

テスト漬けで学校と子どもを苦しめている

すます県議は、小学校教師の言葉を紹介し「学力テストがはじまってから、学力テストで求められる学力がすべてのような発想が上から降ってくるようになりました」と。実際、県教育委員会は中学校2年生と小学校5年生、4年生に「定着状況たしかめテスト」をおこなっています。加えて4市町では小学校1年生から、7市町では小学校2年生から、4市では小学校3年生からと、大部分の市町で独自のテストが実施され、まさにテスト漬けです。すます県議は、学力テストで順位をつけることによって、

全国学力テストの目標をかかげている県

県名	目標・指標	計画名
岡山	全国順位10位以内	県総合計画ほか
愛媛	全国トップ10	学力向上計画
北海道	全国平均以上の正答率	教育推進計画
宮城	正答率かい離を小1.0、中4.0ポイント	学力向上プログラム
静岡	全科目で全国平均を上回る	教育振興基本計画
福岡	全教科で全国平均を上回る	教育施策実施計画
大分	正答率を九州トップクラス 全教科で全国平均を上回る	総合教育計画

「岡山の子どもは学力が低い」という誤った世論がつくられ、父母と教員、地域を分断し疑心暗鬼にする要因になっている」と指摘するとともに、「わかる授業、楽しい学校づくりをすすめる、基礎学力の向上をめざすことが必要」とのべました。

正規の先生を増やし、わかる授業、楽しい学校を

すます県議はさらに、「いつもくたくたで余裕がない」「調査と報告で時間がつぶれる」など先生の声を紹介。岡山県の正規教員の割合は89.3%で全国ワースト5位であることを示し、正規教員を増やすよう求めました。教育長は、「教師の多忙化で学校にゆとりがなくなっていることは認識している。今後、正規教員のバランスを考えたい」と答えました。

保育所待機児ゼロへ

保育所の待機児問題が深刻です。岡山県では昨年4月1日現在、1,007人にもなります。さらに母親が育休を取得したために退所させられた児童は177人も。

すます県議は、認可保育所増設のため県の財政支援、保育士確保と処遇改善のための県独自制度の創設を求めました。知事は「待機児童解消のために力を尽くす」と答弁しました。

子ども医療費助成充実を

県制度として実施している小児医療費助成制度ですが、岡山市に対しては政令市移行を理由に補助をゼロにし、倉敷市に対しては中核市であることを理由に補助率を6分の1(他の市は2分の1)に引き下げています。他県では、政令市に対しても補助をおこなっています。また、中核市への補助率は全国最下位であり、倉敷市と同市議会から繰り返し改善を求める要望が出されています。

無料化対象年齢の引き上げと補助率の引き上げを求める、すます県議に対し、知事は、厳しい財政事情を理由に「慎重に検討すべき課題」とのべ、県民の切実な声に背を向けました。



質問するすます県議 (12月8日)